

記載例

第1号様式—(1)

指定自立支援医療機関（育成医療・更生医療）指
（病院又は診療所用）

厚生局に申請中の場合は「申請中」と記載し、コードが発行されたら速やかに写しを提出すること。

保険医療機関	名 称	○○病院 保険医療機関コード (○○○○○○○○ (申請中))		
	所 在 地	〒○○○一○○○○ 藤沢市○○町○一〇 TEL○○○○ (○○) ○○○○		
開設者 (*)	住 所	〒○○○一○○○○ 横浜市中区日本大通○		
	氏名（個人開設の場合）又は法人名と代表者（法人開設の場合）	医療法人○○会 理事長 ○○ ○○		
生年月日 (個人開設の場合)		職名（個人開設の場合）		
標榜している診療科目	腎臓内科			
担当しようとする医療の種類	腎臓に関する医療			
主として担当する医師又は歯科医師の経歴	(別紙1)	自立支援医療を行うために必要な体制及び設備の概要		(別紙2)
自立支援医療を行うための入院設備の定員	○○人			

上記のとおり、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（平成17年法律第123号）第59条第1項の規定による指定自立支援医療機関（育成医療・更生医療）として指定されたいので申請します。

また、同法第59条第3項で準用する同法第36条第3項（第1号から第3号まで及び第7号を除く）の規定いずれにも該当しないことを誓約します。

○年 ○月 ○日

開 設 者 （下記下線部に（*）と同じ住所等を記載）

提出日を記載すること。

住 所 横浜市中区日本大通○

開設者（*）と同じ内容とすること。

氏名又は 医療法人○○会
法人名と代表者 理事長 ○○ ○○

神奈川県知事 殿

※ 育成医療又は更生医療いずれか単独での指定を希望する場合は、様式中の「（育成医療・更生医療）」のうち、指定を希望しない医療部分を二重線で消去すること。

●担当者連絡先 担当者□□ TEL : 070-XXXX-XXXX

次の書類を添付し、御提出ください。

【全てに必要な提出書類】別紙1、別紙2、別紙3、医師免許証の写し(A4に縮小してください)

【医療の種類によって提出書類】別紙4～別紙13（HPの留意事項をご確認ください）

※遡及申請の場合：厚生局に遡及申請をしたことがわかる書面（申請書の写し）

（第1号様式—（1）の別紙1）

経歴書

学位	修士(医学)	ふりがな 氏名	かながわ いちろう 神奈川 一郎	生年月日	〇年〇月〇日
現住所	〒〇〇〇一〇〇〇〇 横浜市中区日本大通〇			任免事項に「別紙のとおり」と記載し、要件が確認できる任意の経歴書添付による提出も可能とします。	
関係学会加入状況	〇〇透析学会、〇〇腎臓学会				
年月日	任免事項		師事した指導者の氏名、学位論文名又は学会に提出した論文名		
〇年〇月	〇〇大学医学部医学科卒業				
〇年〇月	医師免許所得 医籍登録第〇〇〇〇〇号				
〇年〇月	〇〇大学付属病院 研修医		専門科目名と身分（医長、医員等）を記載すること。		
〇年〇月	〇〇病院 腎臓内科 医員				
〇年〇月	〇〇大学大学院 ■■科		指導者 〇〇大学医学部■■科 教授〇〇 〇〇 学位論文名 「〇〇〇〇について（〇〇学会）」		
〇年〇月	△△病院 腎臓内科 医員 (臨床研修病院)		指導医 〇〇 〇〇 〇〇学会発表 「〇〇〇に関して」		
〇年〇月	〇〇透析学会 専門医取得		専門医を取得した場合は記載すること。		
〇年〇月	〇〇病院 腎臓内科 非常勤 週〇日〇時間		非常勤・兼務職員の経歴は、勤務条件等を記載すること。		
〇年〇月	医療法人〇〇会 〇〇病院 腎臓内科 医長（常勤） (現在に至る)		常勤であることがわかるよう記載すること。		

※常勤であること、医療の種類の専門科目における研究、診療従事年数が5年以上あることが要件となっていますので、それらがわかるように記載してください。

記載例

(第1号様式一(1)の別紙2)

自立支援医療を行うために必要な体制及び設備の概要

	品 目	数 量	品 目	数 量
設 備 (主要なもの)	透析装置 透析室 透析用ベッド	○台 ○室 ○床		
体 制	医師○名、看護師○名(常勤)、管理栄養士1名(常勤)、相談員○名、事務○名			

「指定自立支援医療機関(育成医療・更生病療)審査基準」を参照し、自立支援医療を行うにあたりて、特に必要とされる体制及び設備を記載すること。
(例)腎臓に関する医療の特に必要とされる体制及び設備
血液浄化療法に関する機器及びスペース ⇒透析用監視装置、透析室等

(第1号様式一(1)の別紙3)

研究内容に関する証明書

医療機関名 医療法人○○会 ○○病院
氏 名 神奈川 一郎

1 研究テーマ ○○○○○○

2 研究の内容別期間等

(1) 教室における臨床実習

自 令和○年○月○日
至 令和○年○月○日] ○○月間(1週 ○日○○時間)

(2) 教授指導下での教室外における臨床実習

自 令和○年○月○日
至 令和○年○月○日] ○○月間(1週 ○日○○時間)

3 その他の研究内容を明らかにするために必要な事項

主論文 ○○○○○○

副論文 ○○○○○○

筆頭者としての執筆論文・学会発表等を一遍以上記載すること。

上記のとおり相違ないことを証明する。

○年 ○月 ○日
医療機関名 大学名 △△病院
氏 名 横浜 二郎

原則、指導教授による証明とするが、臨床研修病院等の指導医による証明でもよい。

原則として、大学専門教室(大学院)における研究の内容について、指導教授等による証明とすること。

ただし、臨床研修病院等における専門的な研究実績を有する場合は、当該病院の指導医による証明でもよいこととする。